

クリーンテック株式&
グリーンボンド・ファンド
(資産成長型)
(愛称：みらいEarth 成長型)
(予想分配金提示型)
(愛称：みらいEarth 分配型)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	約10年 3 カ月間 (2020年 2 月18日～2030年 5 月10日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	イ. アクサ IMクリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）の受益証券 ロ. アクサ IMグリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）の受益証券	
組入制限	投資信託証券組入上限比率 無制限	
分配方針	資産成長型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
	予想分配金提示型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ. およびロ. に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。 イ. 計算期末の前営業日の基準価額（1 万口当り。既払分配金を加算しません。以下同じ。）が10,500円未満の場合、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。 ロ. 計算期末の前営業日の基準価額が10,500円以上の場合、原則として、当該基準価額に応じ、下記の金額（1 万口当り）を分配することをめざします。 (a) 10,500円以上11,000円未満の場合…300円 (b) 11,000円以上11,500円未満の場合…350円 (c) 11,500円以上12,000円未満の場合…400円 (d) 12,000円以上12,500円未満の場合…450円 (e) 12,500円以上の場合 …500円 なお、当該計算期末に向けて基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行なわないことがあります。

運用報告書(全体版) 第 2 期

(決算日 2020年11月11日)

(作成対象期間 2020年 5 月12日～2020年11月11日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界のクリーンテック関連企業の株式およびグリーンボンドに投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3410>
<3411>

資産成長型

設定以来の運用実績

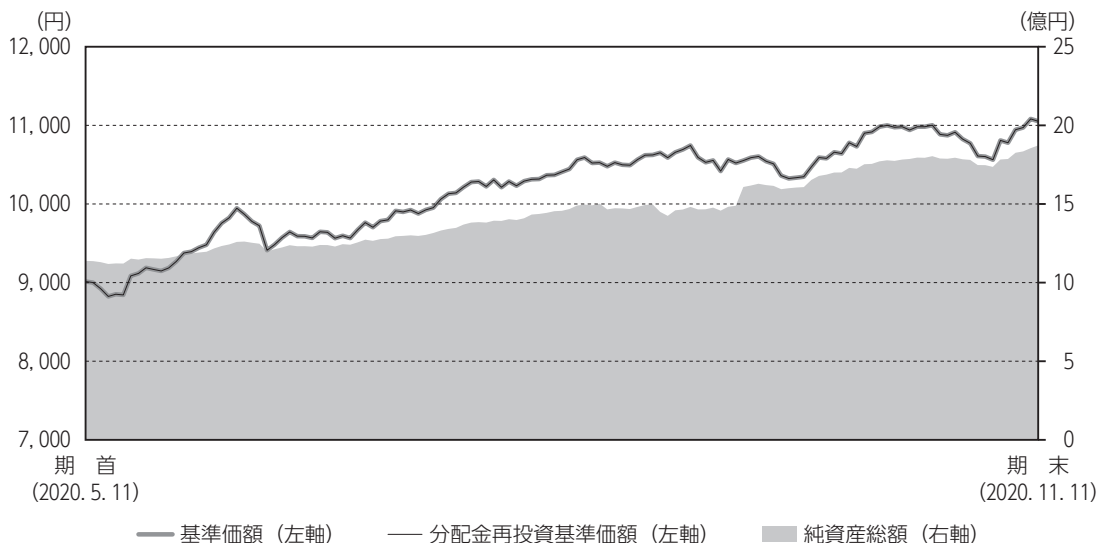
決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 期 騰 落 中 率		
	円	円	%	%	百万円
1 期末 (2020年 5 月11日)	9, 014	0	△ 9. 9	99. 1	1, 138
2 期末 (2020年11月11日)	11, 053	0	22. 6	97. 8	1, 872

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期 首：9,014円

期 末：11,053円（分配金0円）

騰落率：22.6%（分配金込み）

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比 率
アクサ IMクリーンテック関連株式ファンド （為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	40.5%	49.3%
アクサ IMグリーンボンド・ファンド （為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	8.6%	48.5%

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、主として米国や欧州の株式および債券価格が上昇したことや、ユーロが対円で上昇（円安）したことなどがプラス要因となり、上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

クリーンテック株式&グリーンボンド・ファンド（資産成長型）

年 月 日	基 準	価 額	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	
(期首) 2020年 5 月11日	円	%	%
	9,014	—	99.1
5 月末	9,395	4.2	99.5
6 月末	9,672	7.3	99.0
7 月末	10,233	13.5	98.9
8 月末	10,589	17.5	100.2
9 月末	10,591	17.5	97.2
10 月末	10,604	17.6	98.9
(期末) 2020年11月11日	11,053	22.6	97.8

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020. 5. 12 ~ 2020. 11. 11)

■グローバル株式市況

グローバル株式市場は上昇しました。

グローバル株式市場は、当作成期首から2020年8月にかけておおむね堅調に推移しました。その後10月にかけて、変動が大きくなりました。米国の追加景気対策への期待感や良好な経済指標の発表などが支援材料になった一方で、これまでの株価上昇による高値警戒感や欧州などで新型コロナウイルスの感染が再拡大したことなどが懸念材料となりました。当作成期末にかけては、米国大統領選挙の結果が明らかになるに連れて上昇基調で推移しました。

■グローバル債券市況

グローバル債券市場は上昇しました。

グローバル債券市場では、各国・地域の中央銀行が大規模な金融緩和政策を行ったことなどから、社債を中心に国債との利回り差が縮小し、債券価格は上昇しました。

■為替相場（米ドル／円、ユーロ／円）

為替相場は、米ドル円相場は下落（円高）、ユーロ円相場は上昇しました。

米ドル円相場は、当作成期首より、米国の金融緩和が長期化するとの思惑や新型コロナウイルスの感染再拡大に対する懸念などから下落しました。当作成期末にかけては、ワクチン開発への期待感などから上昇し、下落幅を縮小させました。

ユーロ円相場は、大規模な財政政策による景気回復期待などから上昇して始まりました。その後は、欧州圏での新型コロナウイルスの感染再拡大による景気減速懸念や追加緩和観測の高まりなどが下落要因となりましたが、ワクチン開発への期待感などは上昇要因となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

純資産総額に対して、「クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を50%程度、「グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を50%程度とすることをめざします。

※クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）：アクサ IMクリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）：アクサ IMグリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

■クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「自然環境保全」などのテーマに着目して、これらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行います。クリーンテック関連企業は、今後実施されることが考えられるインフラ（社会基盤）整備などの景気刺激策に恩恵を受けるとともに、これまでも必要性が叫ばれていた地球環境を守るための行動の変化などから長期的な成長が期待できると考えます。

■グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、グリーンボンド、すなわち二酸化炭素の排出量削減や再生可能エネルギー発電能力の増強など、環境にやさしいプロジェクト向けの資金調達を目的として発行された公社債に投資を行います。新型コロナウイルスの感染拡大が経済や社会に与える影響に対し各国政府や中央銀行が強力な対策を打ち出していることから、市場心理は回復に向かいました。その間、多くの国で感染拡大に歯止めがかかり、徐々に都市封鎖解除に向けて動き始めました。金利面では、大規模な財政出動を伴う景気刺激策が金利上昇圧力となる一方で、中央銀行による量的緩和策は金利を押し下げています。先行き不透明感から当面は低金利が続くと思われるものの、債券の大量発行や感染症に関するポジティブなニュースを背景に短期的に金利が反発する可能性もあります。社債などクレジット市場については、たとえ新型コロナウイルス感染のピークが過ぎたとしても、ボラティリティの高い状態が続くものと思われます。政府や中央銀行の支援によって現在のバリュエーションは魅力的な水準にあるものの、今後の不確実性を考慮すると市場回復への道のりは平坦ではないとみています。引き続き、慎重な姿勢で運用に臨みつつ、優良なグリーンボンドへの投資を通じて安定したリターンを獲得することをめざします。

ポートフォリオについて

(2020. 5. 12 ~ 2020. 11. 11)

■当ファンド

当ファンドは、「クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」および「グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、純資産総額に対して、クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の組入比率を50%程度、グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）の組入比率を50%程度、組み入れました。

■クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「自然環境保全」などのテーマに着目して、これらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行います。

「地球温暖化対策」ではアイルランドの建築資材会社キングスパン・グループ、「環境汚染防止」では英国の水質検査装置のリーディングカンパニーのハルマ、「廃棄物処理・資源有効利用」ではカナダの廃棄物処理業者ウエイスト・コネクションズ、「自然環境保全」では汚染状況の状況分析を行う米国のサーモフィッシャーサイエンティフィックなどの企業に投資しています。

■グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、グリーンボンド、すなわち二酸化炭素の排出量削減や再生可能エネルギー発電能力の増強など、環境にやさしいプロジェクト向けの資金調達を目的として発行された公社債に投資を行います。通貨別ではユーロ建てが最も多く、次いで米ドル建てなどに投資しています。債券種別配分では社債を多めに配分しており、中でもユーロ建社債を選好しています。社債は、現在の環境では変動の大きい状態が続くとみられますが、ECB（欧州中央銀行）の債券購入プログラムが市場を支えると予想されることから、バリュエーションは割安であるとみています。また、グリーンボンドの資金使途は、主に再生可能エネルギー関連のプロジェクト向けとなっています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2020年5月12日 ～2020年11月11日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,053

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

純資産総額に対して、「クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を50%程度、「グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を50%程度とすることをめざします。

■クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「自然環境保全」などのテーマに着目して、これらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行います。環境産業は、環境への世界的な関心の高まりに加え、新たなテクノロジーの出現や政府および国際機関による政策的後押しなどによって長期的に大きく成長することが期待されています。

■グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、グリーンボンド、すなわち二酸化炭素の排出量削減や再生可能エネルギー発電能力の増強など、環境にやさしいプロジェクト向けの資金調達を目的として発行された公社債に投資を行います。資金使途を環境分野へ限定したグリーンボンドは、近年、環境意識の高まりなどから発行体の数が増加し、発行する業種にも多様化が見られます。グリーンボンドは、市場規模の拡大に伴い、今後注目が高まる投資資産と考えています。当ファンドでは、クレジット分析などの一般的な債券分析の手法に加えて、E S G（環境・社会・ガバナンス）の観点からも銘柄を選定することで優良なグリーンボンドへの投資を行い、安定したリターンを獲得することをめざしていく方針です。

1万口当りの費用の明細

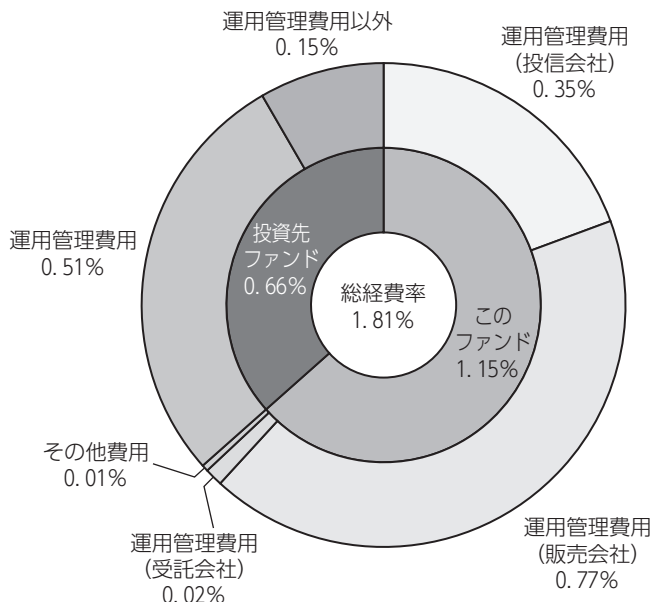
項 目	当 期 (2020. 5. 12～2020. 11. 11)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	59円	0. 577%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10, 201円です。
(投 信 会 社)	(18)	(0. 177)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(40)	(0. 388)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	59	0. 581	

- (注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.81%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.81%
①このファンドの費用の比率	1.15%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.51%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年 5月12日から2020年11月11日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	アクサ IMクリーンテック関連株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	189,716.481	198,000	100,961.632	100,000
	アクサ IMグリーンボンド・ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	342,644.606	353,000	39,467.06	41,000

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
国内投資信託受益証券			
アクサ IMクリーンテック関連 株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	791,947.531	922,539	49.3
アクサ IMグリーンボンド・ ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	871,214.339	908,066	48.5
合 計	口 数、金 額	1,663,161.87	1,830,606
	銘柄数 <比率>	2 銘柄	<97.8%>

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年11月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1,830,606	97.2
コール・ローン等、その他	53,209	2.8
投資信託財産総額	1,883,816	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年11月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,883,816,214円
コール・ローン等	53,209,831
投資信託受益証券 (評価額)	1,830,606,383
(B) 負債	11,088,575
未払解約金	2,659,546
未払信託報酬	8,368,776
その他未払費用	60,253
(C) 純資産総額 (A－B)	1,872,727,639
元本	1,694,285,499
次期繰越損益金	178,442,140
(D) 受益権総口数	1,694,285,499口
1万口当り基準価額 (C／D)	11,053円

* 期首における元本額は1,263,031,607円、当作成期間中における追加設定元本額は643,818,072円、同解約元本額は212,564,180円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,053円です。

■損益の状況

当期 自 2020年 5月12日 至 2020年11月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 6, 187円
受取利息	767
支払利息	△ 6, 954
(B) 有価証券売買損益	265, 888, 255
売買益	292, 061, 950
売買損	△ 26, 173, 695
(C) 信託報酬等	△ 8, 429, 284
(D) 当期損益金 (A + B + C)	257, 452, 784
(E) 前期繰越損益金	△ 95, 124, 400
(F) 追加信託差損益金	16, 113, 756
(配当等相当額)	(△ 2, 042)
(売買損益相当額)	(16, 115, 798)
(G) 合計 (D + E + F)	178, 442, 140
次期繰越損益金 (G)	178, 442, 140
追加信託差損益金	16, 113, 756
(配当等相当額)	(△ 2, 042)
(売買損益相当額)	(16, 115, 798)
分配準備積立金	162, 334, 571
繰越損益金	△ 6, 187

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	162, 334, 571
(c) 収益調整金	16, 115, 798
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	178, 450, 369
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	178, 450, 369
(h) 受益権総口数	1, 694, 285, 499口

予想分配金提示型

設定以来の運用実績

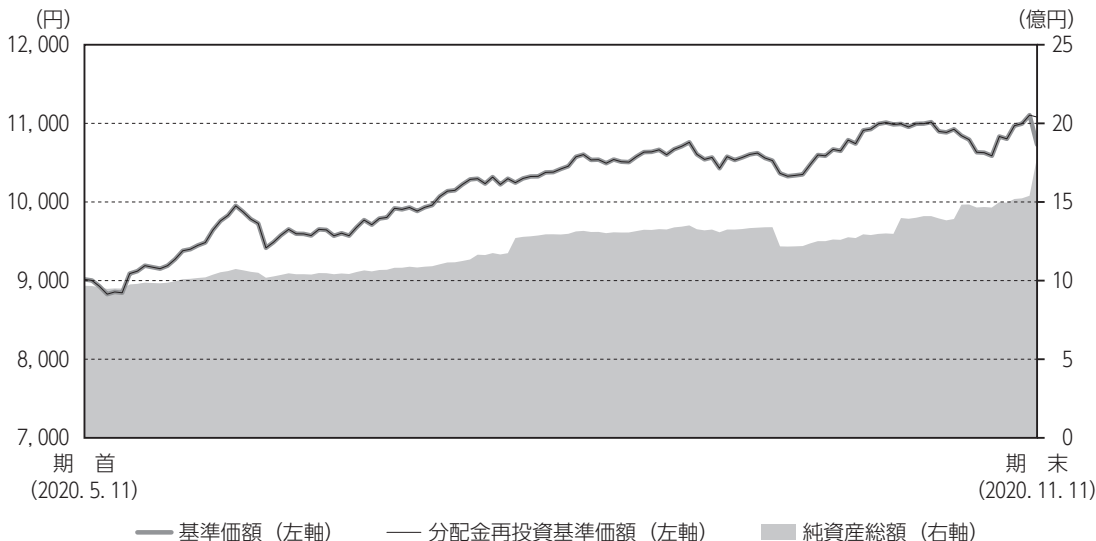
決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 期 騰 落 中 率		
1 期末 (2020年 5 月11日)	円 9, 017	円 0	% △ 9. 8	% 99. 4	百万円 967
2 期末 (2020年11月11日)	10, 731	350	22. 9	82. 4	1, 784

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,017円

期末：10,731円（分配金350円）

騰落率：22.9%（分配金込み）

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率と期末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
アクサIMクリーンテック関連株式ファンド （為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	40.5%	41.9%
アクサIMグリーンボンド・ファンド （為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	8.6%	40.6%

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、主として米国や欧州の株式および債券価格が上昇したことや、ユーロが対円で上昇（円安）したことなどがプラス要因となり、上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

クリーンテック株式&グリーンボンド・ファンド（予想分配金提示型）

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	投 資 信 託 受 組 益 証 券 率
(期首) 2020年 5 月11日	円 9,017	% —	% 99.4
5 月末	9,399	4.2	99.6
6 月末	9,678	7.3	98.9
7 月末	10,247	13.6	91.1
8 月末	10,602	17.6	98.7
9 月末	10,598	17.5	98.9
10月末	10,627	17.9	98.1
(期末) 2020年11月11日	11,081	22.9	82.4

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020. 5. 12 ~ 2020. 11. 11)

■グローバル株式市況

グローバル株式市場は上昇しました。

グローバル株式市場は、当作成期首から2020年8月にかけておおむね堅調に推移しました。その後10月にかけて、変動が大きくなりました。米国の追加景気対策への期待感や良好な経済指標の発表などが支援材料になった一方で、これまでの株価上昇による高値警戒感や欧州などで新型コロナウイルスの感染が再拡大したことなどが懸念材料となりました。当作成期末にかけては、米国大統領選挙の結果が明らかになるに連れて上昇基調で推移しました。

■グローバル債券市況

グローバル債券市場は上昇しました。

グローバル債券市場では、各国・地域の中央銀行が大規模な金融緩和政策を行ったことなどから、社債を中心に国債との利回り差が縮小し、債券価格は上昇しました。

■為替相場（米ドル／円、ユーロ／円）

為替相場は、米ドル円相場は下落（円高）、ユーロ円相場は上昇しました。

米ドル円相場は、当作成期首より、米国の金融緩和が長期化するとの思惑や新型コロナウイルスの感染再拡大に対する懸念などから下落しました。当作成期末にかけては、ワクチン開発への期待感などから上昇し、下落幅を縮小させました。

ユーロ円相場は、大規模な財政政策による景気回復期待などから上昇して始まりました。その後は、欧州圏での新型コロナウイルスの感染再拡大による景気減速懸念や追加緩和観測の高まりなどが下落要因となりましたが、ワクチン開発への期待感などは上昇要因となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

純資産総額に対して、「クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を50%程度、「グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を50%程度とすることをめざします。

※クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）：アクサ IMクリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）
グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）：アクサ IMグリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

■クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「自然環境保全」などのテーマに着目して、これらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行います。クリーンテック関連企業は、今後実施されることが考えられるインフラ（社会基盤）整備などの景気刺激策に恩恵を受けるとともに、これまでも必要性が叫ばれていた地球環境を守るための行動の変化などから長期的な成長が期待できると考えます。

■グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、グリーンボンド、すなわち二酸化炭素の排出量削減や再生可能エネルギー発電能力の増強など、環境にやさしいプロジェクト向けの資金調達を目的として発行された公社債に投資を行います。新型コロナウイルスの感染拡大が経済や社会に与える影響に対し各国政府や中央銀行が強力な対策を打ち出していることから、市場心理は回復に向かいました。その間、多くの国で感染拡大に歯止めがかかり、徐々に都市封鎖解除に向けて動き始めました。金利面では、大規模な財政出動を伴う景気刺激策が金利上昇圧力となる一方で、中央銀行による量的緩和策は金利を押し下げています。先行き不透明感から当面は低金利が続くと思われるものの、債券の大量発行や感染症に関するポジティブなニュースを背景に短期的に金利が反発する可能性もあります。社債などクレジット市場については、たとえ新型コロナウイルス感染のピークが過ぎたとしても、ボラティリティの高い状態が続くものと思われます。政府や中央銀行の支援によって現在のバリュエーションは魅力的な水準にあるものの、今後の不確実性を考慮すると市場回復への道のりは平坦ではないとみています。引き続き、慎重な姿勢で運用に臨みつつ、優良なグリーンボンドへの投資を通じて安定したリターンを獲得することをめざします。

ポートフォリオについて

(2020. 5. 12 ~ 2020. 11. 11)

■当ファンド

当ファンドは、「クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」および「グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期は、純資産総額に対して、クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）の組入比率を50%程度、グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）の組入比率を50%程度、組み入れました。

■クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「自然環境保全」などのテーマに着目して、これらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行います。

「地球温暖化対策」ではアイルランドの建築資材会社キングスパン・グループ、「環境汚染防止」では英国の水質検査装置のリーディングカンパニーのハルマ、「廃棄物処理・資源有効利用」ではカナダの廃棄物処理業者ウエイスト・コネクションズ、「自然環境保全」では汚染状況の状況分析を行う米国のサーモフィッシャーサイエンティフィックなどの企業に投資しています。

■グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、グリーンボンド、すなわち二酸化炭素の排出量削減や再生可能エネルギー発電能力の増強など、環境にやさしいプロジェクト向けの資金調達を目的として発行された公社債に投資を行います。通貨別ではユーロ建てが最も多く、次いで米ドル建てなどに投資しています。債券種別配分では社債を多めに配分しており、中でもユーロ建社債を選好しています。社債は、現在の環境では変動の大きい状態が続くとみられますが、ECB（欧州中央銀行）の債券購入プログラムが市場を支えると予想されることから、バリュエーションは割安であるとみています。また、グリーンボンドの資金使途は、主に再生可能エネルギー関連のプロジェクト向けとなっています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2020年5月12日 ～2020年11月11日	
当期分配金（税込み）	（円）	350
対基準価額比率	（％）	3.16
当期の収益	（円）	350
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	730

- （注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- （注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- （注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓ 783.41
(c) 収益調整金	297.55
(d) 分配準備積立金	0.00
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	1,080.96
(f) 分配金	350.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	730.96

- （注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

純資産総額に対して、「クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を50%程度、「グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を50%程度とすることをめざします。

■クリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「自然環境保全」などのテーマに着目して、これらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行います。環境産業は、環境への世界的な関心の高まりに加え、新たなテクノロジーの出現や政府および国際機関による政策的後押しなどによって長期的に大きく成長することが期待されています。

■グリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドは、グリーンボンド、すなわち二酸化炭素の排出量削減や再生可能エネルギー発電能力の増強など、環境にやさしいプロジェクト向けの資金調達を目的として発行された公社債に投資を行います。資金使途を環境分野へ限定したグリーンボンドは、近年、環境意識の高まりなどから発行体の数が増加し、発行する業種にも多様化が見られます。グリーンボンドは、市場規模の拡大に伴い、今後注目が高まる投資資産と考えています。当ファンドでは、クレジット分析などの一般的な債券分析の手法に加えて、E S G（環境・社会・ガバナンス）の観点からも銘柄を選定することで優良なグリーンボンドへの投資を行い、安定したリターンを獲得することを目指していく方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020. 5. 12～2020. 11. 11)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	59円	0. 577%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10, 208円です。
(投 信 会 社)	(18)	(0. 177)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(40)	(0. 388)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	59	0. 581	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

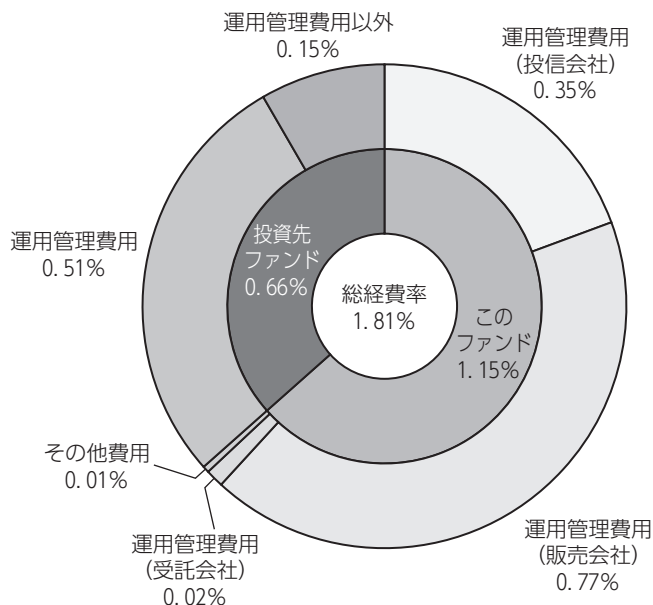
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.81%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.81%
①このファンドの費用の比率	1.15%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.51%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年 5月12日から2020年11月11日まで)

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国	内	千口	千円	千口	千円
	アクサ IMクリーンテック関連株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	203, 519. 931	217, 000	161, 019. 365	166, 000
	アクサ IMグリーンボンド・ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	292, 028. 803	301, 000	82, 382. 842	85, 000

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
国内投資信託受益証券			
アクサ IMクリーンテック関連 株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	641, 414. 405	747, 183	41. 9
アクサ IMグリーンボンド・ ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	694, 374. 565	723, 746	40. 6
合 計	口 数、 金 額	1, 335, 788. 97	1, 470, 930
	銘柄数 < 比率 >	2 銘柄	< 82. 4% >

(注 1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年11月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	1, 470, 930	79. 5
コール・ローン等、その他	378, 868	20. 5
投資信託財産総額	1, 849, 798	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年11月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1, 849, 798, 517円
コール・ローン等	378, 868, 268
投資信託受益証券 (評価額)	1, 470, 930, 249
(B) 負債	65, 247, 354
未払収益分配金	58, 205, 015
未払信託報酬	6, 992, 007
その他未払費用	50, 332
(C) 純資産総額 (A－B)	1, 784, 551, 163
元本	1, 663, 000, 454
次期繰越損益金	121, 550, 709
(D) 受益権総口数	1, 663, 000, 454口
1 万口当り基準価額 (C／D)	10, 731円

* 期首における元本額は1, 072, 677, 348円、当作成期間中における追加設定元本額は748, 299, 886円、同解約元本額は157, 976, 780円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10, 731円です。

■損益の状況

当期 自 2020年 5月12日 至 2020年11月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 5,301円
受取利息	572
支払利息	△ 5,873
(B) 有価証券売買損益	221,277,276
売買益	241,474,877
売買損	△ 20,197,601
(C) 信託報酬等	△ 7,042,516
(D) 当期損益金 (A + B + C)	214,229,459
(E) 前期繰越損益金	△ 83,953,596
(F) 追加信託差損益金	49,479,861
(配当等相当額)	(△ 2,803)
(売買損益相当額)	(49,482,664)
(G) 合計 (D + E + F)	179,755,724
(H) 収益分配金	△ 58,205,015
次期繰越損益金 (G + H)	121,550,709
追加信託差損益金	49,479,861
(配当等相当額)	(△ 2,803)
(売買損益相当額)	(49,482,664)
分配準備積立金	72,076,149
繰越損益金	△ 5,301

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	130,281,164
(c) 収益調整金	49,482,664
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	179,763,828
(f) 分配金	58,205,015
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	121,558,813
(h) 受益権総口数	1,663,000,454□

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	350円

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型株式投資信託／適格機関投資家私募	
信託期間	原則、無期限とします。	
運用方針	アクサ IMクリーンテック関連株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券
	マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
ベビーファンドの運用方法	- 主として、マザーファンドの受益証券を通じて日本を含む世界のクリーンテック関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ※当ファンドにおけるクリーンテック関連企業とは、環境にやさしい輸送手段の利用、代替エネルギーへの移行、より健康的な食生活と持続可能な食糧供給の実現、水資源の保全と再利用、廃棄物削減などを促す活動を事業の中心に据える企業を指します。 - マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 - 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 - 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。	
マザーファンドの運用方法	- 主として、日本を含む世界のクリーンテック関連企業の株式に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ※当ファンドにおけるクリーンテック関連企業とは、環境にやさしい輸送手段の利用、代替エネルギーへの移行、より健康的な食生活と持続可能な食糧供給の実現、水資源の保全と再利用、廃棄物削減などを促す活動を事業の中心に据える企業を指します。 - ポートフォリオの構築にあたっては、以下の点に留意しながら運用を行うことを基本とします。 - 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式の中から、アクサ・インベストメント・マネージャー独自のESG基準に基づくスクリーニングによってユニバースを絞り込みます。 - その中からクリーンテック分野において長期的な成長が見込まれる企業群を選定します。 - さらにファンダメンタル・リサーチに基づき銘柄を絞り込み、バリュエーションや流動性、ポートフォリオ全体のリスクなどを勘案の上、確信度に基づいて組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。 - 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 - 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。 - 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 - 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。	
組入制限	当ファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益（繰越欠損補填後、評価損益を含む）等の全額とします。 ②分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないこともあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

アクサ IMクリーンテック 関連株式ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)

追加型株式投資信託／適格機関投資家私募

運用報告書（全体版）

第2期（決算日 2020年10月12日）

受益者の皆様へ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「アクサ IMクリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」は、このたび第2期の決算を行いました。当ファンドは、アクサ IMクリーンテック関連株式マザーファンドの受益証券を通じて、日本を含む世界のクリーンテック関連企業の株式に投資することで、信託財産の成長を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

引き続き一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー14階
<http://www.axa-im.co.jp/>

《当運用報告書の記載内容に関する問い合わせ先》
電話番号：03-5447-3160
受付時間：9：00～17：00（土日祭日を除く）

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			株 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 騰 落 中 率		
(設 定 日) 2020年2月19日	円 10,000	円 —		% —	% —	百万円 882
1 期(2020年4月13日)	7,851	0		△21.5	90.7	1,041
2 期(2020年10月12日)	11,449	0		45.8	98.4	6,987

(注1) 基準価額および分配金は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

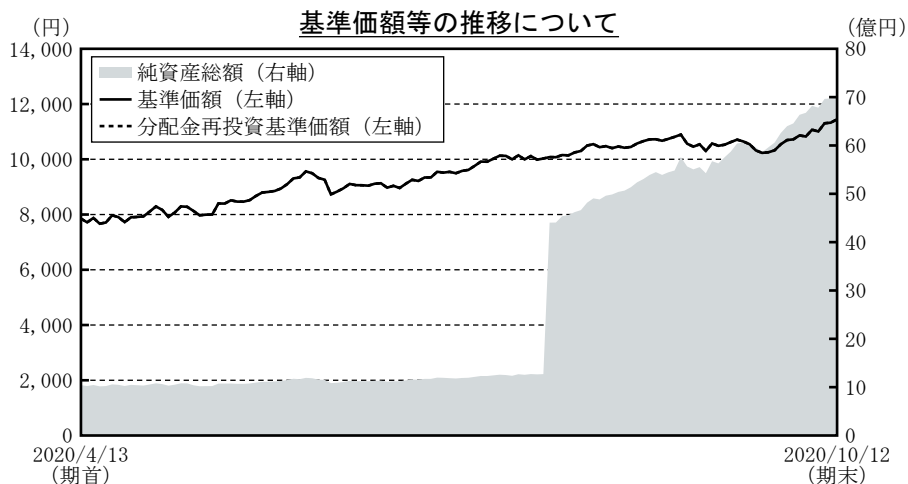
年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率
		騰 落 率		
(期 首) 2020年4月13日	円 7,851	% —		% 90.7
4 月末	8,292	5.6		96.1
5 月末	8,819	12.3		97.1
6 月末	9,117	16.1		97.0
7 月末	9,986	27.2		96.1
8 月末	10,671	35.9		93.6
9 月末	10,696	36.2		94.0
(期 末) 2020年10月12日	11,449	45.8		98.4

(注1) 基準価額は1万円当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は設定日比です。なお、当期は分配金はありません。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2020年4月14日～2020年10月12日）



期 首：7,851円

期 末：11,449円（既払分配金（税込み）：0円）

騰 落 率：45.8%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当期は、北米や欧州の保有銘柄の株価が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期のグローバル株式市場は、上昇しました。2月下旬から3月上旬にかけて、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、主要市場は大幅な下落を記録しましたが、各国中央銀行が利下げや量的緩和の拡大を行い市場を支えたことや、各国政府が大規模な経済政策を行ったこと等により、3月下旬以降市場は回復に向かいました。その後、経済活動が徐々に再開されたことや企業の四半期決算が概ね良好だったこと等から市場は堅調なパフォーマンスを続けました。9月に入り、新型コロナウイルス感染再拡大、各国における景気刺激策の縮小、米大統領選の不透明感などの懸念材料から下落したものの、期を通しては上昇しました。

自動車関連セクターでは、欧州および北米で自動車製造の回復傾向が続いており、年後半に向けても低い在庫水準、高いペントアップ需要を背景に各メーカーは概ね楽観的な見通しを立てています。電気自動車（EV）の販売は引き続き好調で、特に欧州では新車販売に占めるEVのシェアに加え、バッテリー需要も大幅に伸びています。自動車販売の回復は緩やかなペースになると見込まれますが、低価格帯のEV新モデル発売や充電設備の拡充によって、EVへのシフトは今後も継続すると確信しています。

スマート・エネルギー関連では、大企業がネットゼロ目標の実現に向けてエネルギーの効率化、再生可能エネルギーへの転換、それらを支えるインフラ整備などへの投資を強化しています。また、グリーン水素の実証プロジェクトへの関心も高まっており、世界的な脱炭素に向けたトレンドが加速していくものと思われます。

持続可能なエコシステム関連では、よりクリーンで持続可能な食のサプライチェーンへのシフトが進んでおり、関連企業は底堅い業績を示しています。

廃棄物処理関連では、先進国での経済活動再開に伴い商業廃棄物のリサイクル量が増加し始めていましたが、感染再拡大で一部の国や地域で制限措置が再び取られていることから、この傾向に変化が生じる可能性があります。また、使い捨てプラスチックやフードロス問題に対する注目も集まっており、循環経済へのシフトの重要性が叫ばれています。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初は108円台から期末には105円台となり、ユーロ・円レートは期初の117円台から期末には124円台となりました。

米ドルは、F R B（米連邦準備制度理事会）が積極的な金融緩和を進め、ドル金利が低下し日米金利差が縮小したこと等からドル安となりました。ユーロはE Uの復興基金創設に対する期待などによりリスク回避姿勢が後退し、円安が進行しました。

【ポートフォリオについて】

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・クリーンテック関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れました。

○アクサ IM・クリーンテック関連株式マザーファンド

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「自然環境保全」などのテーマに着目して、これらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行いました。地域別では、米国が最も多く、次いでイギリス、大陸欧州などの国・地域に投資しています。

「地球温暖化対策」では米国の再生可能エネルギー大手ネクステラ・エナジー、「環境汚染防止」では英国の水質検査装置のリーディングカンパニーのハルマ、「廃棄物処理・資源有効利用」では、カナダの廃棄物処理業者ウェスト・コネクションズ、「自然環境保全」では公益事業会社向けにスマートメーター技術・サービスを提供する米国のアイトロンなどの企業に投資しています。

当期はオランダのスマート・エネルギー企業のアルフェン、イタリアの大手電力企業のエネル、米国の半導体企業のシリコン・ラボラトリーズや食品加工のダーリン・イングレディエンツを組み入れました。また、テスラについては株価が上昇を続けているため一部売却し利益を確定させました。

【当ファンドのベンチマークの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【分配金】

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳

（単位：円、1 万口当たり、税込み）

		第 2 期
		2020年 4 月 14 日～2020年10月12 日
当期分配金 (対基準価額比率)		—
		— %
	当期の収益	—
	当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額		1,448

（注 1）「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

（注 2）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注 3）「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1 万口当たりで小数点以下を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IM・クリーンテック関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れる方針です。

○アクサ IM・クリーンテック関連株式マザーファンド

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「自然環境保全」などのテーマに着目して、環境への取り組みを支えるこれらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行います。こうした将来的な成長期待の高い環境関連株式に投資することによって、長期的に優れたリターンの獲得を目指します。

■1万口当たりの費用明細（2020年4月14日～2020年10月12日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	27円	0.286%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は9,561円です。
（投 信 会 社）	(26)	(0.274)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(0)	(0.001)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売 買 委 託 手 数 料	31	0.322	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(31)	(0.322)	
そ の 他 費 用	10	0.103	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(2)	(0.023)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(8)	(0.080)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	68	0.710	

- （注1）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- （注2）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- （注3）比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
- （注4）売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

■売買及び取引の状況（2020年4月14日～2020年10月12日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アクサ IMクリーンテック 関連株式マザーファンド	4,794,312	4,976,000	108,863	98,000

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買比率（2020年4月14日～2020年10月12日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アクサ IMクリーンテック関連株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	5,283,816千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	2,584,100千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	2.04

（注1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2020年4月14日～2020年10月12日）

期中の利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2020年4月14日～2020年10月12日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2020年10月12日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
アクサ IMクリーンテック関連株式マザーファンド	1,320,382	6,005,831	6,981,779

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成
 (2020年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アクサ IMクリーンテック関連株式マザーファンド	6,981,779	98.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	74,603	1.1
投 資 信 託 財 産 総 額	7,056,382	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) アクサ IMクリーンテック関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建て資産（6,904,805千円）の投資信託財産総額（7,009,936千円）に対する比率は、98.5%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル＝105.66円、1カナダドル＝80.44円、1香港ドル＝13.63円、1英ポンド＝137.63円、1スイスフラン＝116.02円、1デンマーククローネ＝16.77円、1ユーロ＝124.78円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況
 ■損益の状況

(2020年10月12日現在)
 当期（自 2020年4月14日 至 2020年10月12日）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	7,056,382,586円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	54,603,224
アクサ IMクリーンテック 関連株式マザーファンド(評価額)	6,981,779,362
未 収 入 金	20,000,000
(B) 負 債	68,676,210
未 払 解 約 金	59,999,999
未 払 信 託 報 酬	8,081,811
そ の 他 未 払 費 用	594,400
(C) 純 資 産 総 額(A－B)	6,987,706,376
元 本	6,103,584,905
次 期 繰 越 損 益 金	884,121,471
(D) 受 益 権 総 口 数	6,103,584,905口
1万口当り基準価額(C／D)	11,449円

1. 期首元本額 1,326,139,243円
 期中追加設定元本額 5,090,259,887円
 期中一部解約元本額 312,814,225円
 2. 1口当たり純資産額 1.1449円

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 7,872円
受 取 利 息	247
支 払 利 息	△ 8,119
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,041,267,672
売 買 益	1,073,074,726
売 買 損	△ 31,807,054
(C) 信 託 報 酬 等	△ 8,676,960
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	1,032,582,840
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 190,936,959
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	42,475,590
(配 当 等 相 当 額)	(6,604,579)
(売 買 損 益 相 当 額)	(35,871,011)
(G) 計 (D+E+F)	884,121,471
次 期 繰 越 損 益 金(G)	884,121,471
追 加 信 託 差 損 益 金	42,475,590
(配 当 等 相 当 額)	(10,405,419)
(売 買 損 益 相 当 額)	(32,070,171)
分 配 準 備 積 立 金	841,645,881

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（16,141,296円）、費用控除後の有価証券等損益額（824,435,369円）、信託約款に規定する収益調整金（42,475,590円）および分配準備積立金（1,069,216円）より分配対象収益は884,121,471円（10,000口当たり1,448.53円）ですが、当期に分配した金額はありません。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（DR（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
運用方法	- 主として、日本を含む世界のクリーンテック関連企業の株式に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ※当ファンドにおけるクリーンテック関連企業とは、環境にやさしい輸送手段の利用、代替エネルギーへの移行、より健康的な食生活と持続可能な食糧供給の実現、水資源の保全や再利用、廃棄物削減などを促す活動を事業の中心に据える企業を指します。 - ポートフォリオの構築にあたっては、以下の点に留意しながら運用を行うことを基本とします。 - 日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式の中から、アクサ・インベストメント・マネージャーズ独自のESG基準に基づくスクリーニングによってユニバースを絞り込みます。 - その中からクリーンテック分野において長期的な成長が見込まれる企業群を選定します。 - さらにファンダメンタル・リサーチに基づき銘柄を絞り込み、バリュエーションや流動性、ポートフォリオ全体のリスクなどを勘案の上、確信度に基づいて組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。 - 株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 - 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズUKリミテッドに運用の指図に関する権限を委託します。 - 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 - 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
株式組入制限	無制限

アクサ IMクリーンテック 関連株式マザーファンド

運用報告書

第1期（決算日：2020年4月13日）

（計算期間 2020年2月19日～2020年4月13日）

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	株 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率		
(設 定 日) 2020年 2 月 19 日	円	%	%	百万円
	10,000	—	—	872
1 期(2020年 4 月 13 日)	7,805	△22.0	91.7	1,030

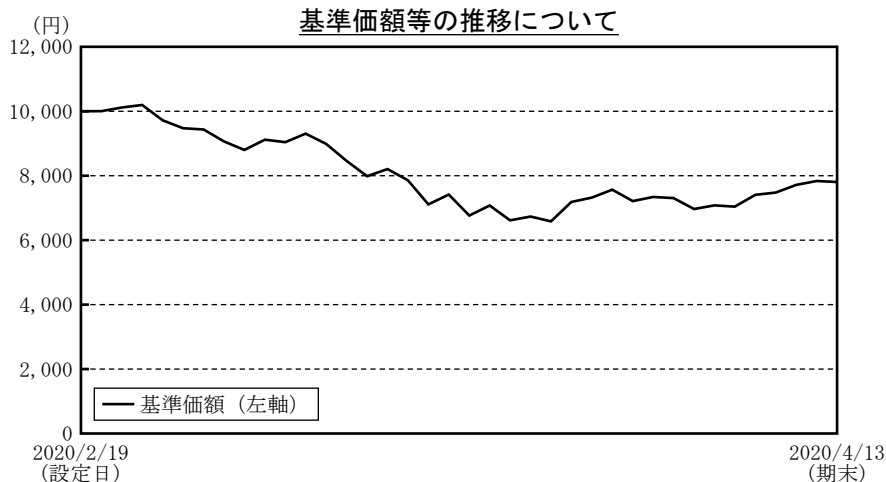
(注 1) 基準価額は 1 万口当たり。
 (注 2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目
 標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準	価 額	株 組 入 比 率
		騰 落 率	
(設 定 日) 2020年 2 月 19 日	円	%	%
	10,000	—	—
2 月末	9,064	△ 9.4	88.5
3 月末	7,342	△26.6	89.5
(期 末) 2020年 4 月 13 日	7,805	△22.0	91.7

(注 1) 基準価額は 1 万口当たり。騰落率は設定日比です。
 (注 2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目
 標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2020年2月19日～2020年4月13日）



【基準価額の主な変動要因】

当期は、北米や欧州をはじめ保有銘柄の株価が全般的に下落したことがマイナス寄与となり、基準価額は下落しました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場

当期のグローバル株式市場は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、主要市場は軒並み弱気相場入りしました。特に都市封鎖に直接影響を受けるセクターが大きく下落しました。また、負債比率の高い企業、中でも短期的な資金調達を必要とする企業も市場全体の下落よりも大きな打撃を受けました。

自動車セクターは自動車販売の急激な落ち込みに加え、部品調達のサプライチェーンへの懸念から大幅に下落しました。当ファンドでは電気自動車（EV）関連の銘柄を組み入れています。自動車全体の販売に比べるとEVの販売は底堅さを示しています。とはいえ、経済情勢が悪化すればEVも影響を免れることはできません。一方で、中国はEV購入補助金制度を2年延長を決定し、これによりEV普及の後押し効果が期待できます。自動車メーカーを支援する目的で、米国では排ガス規制の緩和が発表され、欧州でも規制の緩和が議論されていますが、北部欧州の主要自動車メーカーは計画通り目標を達成する姿勢を示しています。

スマートエネルギー分野では、十分な資金調達が可能な大規模再生可能エネルギー開発プロジェクトは市場の混乱の影響を比較的軽微にとどめており、また危機終焉後の景気刺激策でインフラ整備投資が含まれる可能性への期待感も見られます。小規模の住宅用再生可能エネルギー開発は大半が現在停止していますが、長期的には、クリーンエネルギーの供給やデータセンター向け水冷システムの効率化などデジタル化の加速に恩恵を受ける企業は有望な投資機会であると見ています。原油価格の急落によりエネルギー・セクターは大きく打撃を受けましたが、スマートエネルギー分野における技術革新は、原油価格が低水準にとどまる環境においても競争力があると見ています。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初は109円台から期末には108円台となり、ユーロ・円レートは期初の118円台から期末には117円台となりました。

当期は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う景気の悪化懸念からリスク回避姿勢が高まり、安全資産と考えられている円に対する需要が強まり円高となりました。

【ポートフォリオについて】

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「自然環境保全」などのテーマに着目して、これらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行いました。地域別では、米国が最も多く、次いでイギリス、大陸欧州などの国・地域に投資しています。

「地球温暖化対策」では米国の再生可能エネルギー大手ネクステラ・エナジー、「環境汚染防止」では英国の水質検査装置のリーディングカンパニーのハルマ、「廃棄物処理・資源有効利用」では、カナダの廃棄物処理業者ウェイト・コネクションズ、「自然環境保全」では公益事業会社向けにスマートメーター技術・サービスを提供する米国のアイトロンなどの企業に投資しています。

また、米国の食品の冷蔵倉庫・物流サービスのリーディングカンパニー、アメリコールド・リアルティ・トラストや、アイルランドのキングスパン・グループも組み入れました。同社はグリーンビルディング向けの断熱材を手掛け、経営陣の質も高く、高い成長が期待できます。

【当ファンドのベンチマークとの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【今後の運用方針】

当ファンドは、「地球温暖化対策」、「環境汚染防止」、「廃棄物処理・資源有効利用」、「自然環境保全」などのテーマに着目して、環境への取り組みを支えるこれらの分野で優れた技術を有し、その技術を事業化している企業に投資を行います。こうした将来的な成長期待の高い環境関連株式に投資することによって、長期的に優れたリターンの獲得を目指します。

■ 1 万口当たりの費用明細（2020年 2 月 19 日～2020年 4 月 13 日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	13円 (13)	0.156% (0.156)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
そ の 他 費 用 (そ の 他)	1 (1)	0.018 (0.018)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合 計	14	0.174	

（注 1）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。期中の平均基準価額は8,035円です。

（注 2）比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況（2020年 2 月 19 日～2020年 4 月 13 日）

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	日 本	千株 13.8	千円 23,206	千株 —	千円 —
	ア メ リ カ	百株 1,063.65 (△56.85)	千米ドル 6,312 (△154)	百株 —	千米ドル —
外	カ ナ ダ	23.07	千カナダドル 308	—	千カナダドル —
	香 港	2,010	千香港ドル 1,301	—	千香港ドル —
	イ ギ リ ス	323.47	千英ポンド 1,076	—	千英ポンド —
	ス イ ス	81.99	千スイスフラン 188	—	千スイスフラン —
	デ ン マ ー ク	25.75	千デンマーククローネ 1,632	—	千デンマーククローネ —
	メ キ シ コ	434	千メキシコペソ 1,873	—	千メキシコペソ —
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ア イ ル ラ ン ド	34.31	180	—	—
	オ ラ ン ダ	122.77	472	—	—
	フ ラ ン ス	31.92	298	—	—
国	ド イ ツ	120.46	414	—	—
	ス ペ イ ン	134.52	211	—	—
	フ ィ ン ラ ン ド	107.29	230	—	—

（注 1）金額は受け渡し代金。

（注 2）（ ）内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

（注 3）単位未満は切り捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合（2020年2月19日～2020年4月13日）

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	1, 179, 419千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	827, 462千円
(c) 売 買 高 比 率 (a)／(b)	1. 42

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
 (注2) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄（2020年2月19日～2020年4月13日）

買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
NEXTERA ENERGY INC	1. 622	47, 620	29, 358	—	—	—	—
HANNON ARMSTRONG SUSTAINABLE	10. 843	42, 315	3, 902				
ITRON INC	4. 394	39, 370	8, 959				
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	1. 066	38, 069	35, 712				
HALMA PLC	12. 307	36, 725	2, 984				
DANAHER CORP	2. 119	36, 479	17, 215				
SCHNEIDER ELECTRIC SE	3. 192	35, 785	11, 210				
XYLEM INC	3. 76	35, 004	9, 309				
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	5. 661	34, 997	6, 182				
TE CONNECTIVITY LTD	3. 272	32, 483	9, 927				

(注1) 金額は受け渡し代金。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2020年2月19日～2020年4月13日）

期中の利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2020年2月19日～2020年4月13日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2020年4月13日現在）

(1) 国内株式

銘 柄	当 期 末	
	評 価 額	
	株 数	金 額
	千株	千円
電気機器（100. 0%）		
パナソニック	12. 5	9, 926
堀場製作所	1. 3	6, 968
合 計	株 数 ・ 金 額	13. 8 16, 894
	銘 柄 数 < 比 率 >	2 < 1. 6% >

(注1) 銘柄欄の（ ）内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
 (注2) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。
 (注3) 単位未満は切捨て。

(2) 外国株式

銘柄		当 期 末			業 種 等
		株 数	評 価 額		
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ)		百株	千米ドル	千円	
ADVANCED ENERGY INDUSTRIES		17.09	88	9,547	半導体・半導体製造装置
APTIV PLC		26.85	167	18,083	自動車・自動車部品
TE CONNECTIVITY LTD		32.72	232	25,203	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ALBEMARLE CORP		12.12	81	8,791	素材
AMERESCO INC-CL A		66.08	116	12,651	資本財
AMERICOLD REALTY TRUST		51.14	183	19,897	不動産
BALL CORP		32.51	227	24,608	素材
BEYOND MEAT INC		16.72	120	13,083	食品・飲料・タバコ
BORGWARNER INC		45.34	116	12,630	自動車・自動車部品
CREE INC		22.55	86	9,391	半導体・半導体製造装置
DANAHER CORP		21.19	308	33,421	ヘルスケア機器・サービス
DEERE & CO		13.66	199	21,547	資本財
ECOLAB INC		11.62	208	22,619	素材
EVOQUA WATER TECHNOLOGIES CO		112.02	162	17,555	資本財
FIRST SOLAR INC		32.99	133	14,442	半導体・半導体製造装置
HANNON ARMSTRONG SUSTAINABLE		108.43	266	28,880	不動産
HERITAGE-CRYSTAL CLEAN INC		33.12	57	6,219	商業サービス・用品
HEXCEL CORP		22.78	80	8,732	資本財
ITRON INC		43.94	278	30,117	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
NEXTERA ENERGY INC		16.22	397	43,058	公益事業
SPROUTS FARMERS MARKET INC		13.41	25	2,757	食品・生活必需品小売り
TPI COMPOSITES INC		86.47	141	15,357	資本財
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR		56.61	273	29,611	半導体・半導体製造装置
TESLA, INC.		3.09	177	19,162	自動車・自動車部品
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC		10.66	338	36,617	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TRIMBLE INC		59.87	206	22,329	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
XYLEM INC		37.6	260	28,217	資本財
小計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	1,006.8 27	4,938 —	534,540 <51.9%>	
(カナダ)			千カナダドル		
WASTE CONNECTIONS INC		23.07	282	21,875	商業サービス・用品
小計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	23.07 1	282 —	21,875 <2.1%>	
(香港)			千香港ドル		
CHINA EVERBRIGHT INTL LTD		1,910	861	12,025	商業サービス・用品
VITASOY INTL HOLDINGS LTD		100	272	3,804	食品・飲料・タバコ
小計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	2,010 2	1,133 —	15,829 <1.5%>	
(イギリス)			千英ポンド		
GENUS PLC		57.88	193	26,090	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
HALMA PLC		123.07	242	32,681	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
UNILEVER PLC		44.76	184	24,882	家庭用品?パーソナル用品
CRODA INTERNATIONAL PLC		28.93	127	17,205	素材
SPIRAX-SARCO ENGINEERING PLC		15.85	133	17,947	資本財
JOHNSON MATTHEY PLC		52.98	104	14,144	素材
小計	株 数 ・ 金 額 銘 柄 数<比 率>	323.47 6	986 —	132,952 <12.9%>	

アクサ I Mクリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

銘 柄		当 期 末			業 種 等
		株 数	評 価 額		
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(スイス)		百株	千スイスフラン	千円	資本財
ABB LTD		81.99	144	16,164	
小 計	株 数 ・ 金 額	81.99	144	16,164	
	銘 柄 数<比 率>	1	—	<1.6%>	
(デンマーク)			千デンマーククローネ		素材 公益事業
CHR HANSEN HOLDING A/S		13.49	690	10,931	
ORSTED A/S		12.26	802	12,712	
小 計	株 数 ・ 金 額	25.75	1,492	23,644	
	銘 柄 数<比 率>	2	—	<2.3%>	
(メキシコ)			千メキシコペソ		素材
ORBIA ADVANCE CORP SAB DE CV		434	1,136	5,251	
小 計	株 数 ・ 金 額	434	1,136	5,251	
	銘 柄 数<比 率>	1	—	<0.5%>	
(アイルランド)			千ユーロ		資本財
KINGSPAN GROUP PLC		34.31	158	18,747	
小 計	株 数 ・ 金 額	34.31	158	18,747	
	銘 柄 数<比 率>	1	—	<1.8%>	
(オランダ)			千ユーロ		資本財 素材 素材
ARCADIS NV		60.34	94	11,197	
KONINKLIJKE DSM NV		16.79	180	21,356	
CORBION NV		45.64	125	14,844	
小 計	株 数 ・ 金 額	122.77	400	47,397	
	銘 柄 数<比 率>	3	—	<4.6%>	
(フランス)			千ユーロ		資本財
SCHNEIDER ELECTRIC SE		31.92	256	30,299	
小 計	株 数 ・ 金 額	31.92	256	30,299	
	銘 柄 数<比 率>	1	—	<2.9%>	
(ドイツ)			千ユーロ		資本財 半導体・半導体製造装置 素材
SIEMENS AG		9.63	78	9,264	
INFINEON TECHNOLOGIES AG		100.01	162	19,199	
SYMRIS AG		10.82	95	11,279	
小 計	株 数 ・ 金 額	120.46	336	39,742	
	銘 柄 数<比 率>	3	—	<3.9%>	
(スペイン)			千ユーロ		資本財
SIEMENS GAMESA RENEWABLE ENERGY		134.52	183	21,700	
小 計	株 数 ・ 金 額	134.52	183	21,700	
	銘 柄 数<比 率>	1	—	<2.1%>	
(フィンランド)			千ユーロ		公益事業
FORTUM OYJ		107.29	166	19,680	
小 計	株 数 ・ 金 額	107.29	166	19,680	
	銘 柄 数<比 率>	1	—	<1.9%>	
ユ ー ロ 計		551.27	1,501	177,569	
		銘 柄 数<比 率>	10	—	
合 計	株 数 ・ 金 額	4,456.35	—	927,826	
	銘 柄 数<比 率>	50	—	<90.0%>	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 小計欄の< >内は純資産総額に対する各通貨別評価額の比率。

(注3) 合計欄の< >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注4) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

（2020年4月13日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株 式	944,720	91.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	85,879	8.3
投 資 信 託 財 産 総 額	1,030,600	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）期末における外貨建て資産（999,969千円）の投資信託財産総額（1,030,600千円）に対する比率は、97.0%です。

（注3）外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=108.23円、1カナダドル=77.55円、1香港ドル=13.96円、1英ポンド=134.80円、1スイスフラン=112.02円、1デンマーククローネ=15.84円、1メキシコペソ=4.62円、1ユーロ=118.27円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2020年4月13日現在）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,030,600,631円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	84,790,145
株 式（評価額）	944,720,738
未 収 配 当 金	1,089,748
(B) 負 債	3,486
そ の 他 未 払 費 用	3,486
(C) 純 資 産 総 額（A－B）	1,030,597,145
元 本	1,320,382,615
次 期 繰 越 損 益 金	△ 289,785,470
(D) 受 益 権 総 口 数	1,320,382,615口
1万口当り基準価額（C／D）	7,805円

1. 設定元本額 872,000,000円
期中追加設定元本額 448,382,615円
期中一部解約元本額 ー円
2. 1口当たりの純資産額 0.7805円
3. 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額
アクサ IMクリーンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）
1,320,382,615円
期末元本合計 1,320,382,615円

■損益の状況

（2020年2月19日～2020年4月13日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	2,548,339円
受 取 配 当 金	2,543,156
受 取 利 息	12,967
支 払 利 息	△ 7,784
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△217,783,708
売 買 益	5,006,810
売 買 損	△222,790,518
(C) そ の 他 費 用	△ 167,486
(D) 当 期 損 益 金（A＋B＋C）	△215,402,855
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 74,382,615
(F) 計（D＋E）	△289,785,470
次 期 繰 越 損 益 金（F）	△289,785,470

（注1）損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注2）損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型株式投資信託／適格機関投資家私募	
信託期間	原則として、無期限とします。	
運用方針	アクサ IMグリーンボンド・マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券
	マザーファンド	内外の公社債等および短期金融商品
ベビーファンドの運用方法	- 主として、マザーファンドの受益証券を通じて日本を含む世界のグリーンボンドに投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ※当ファンドにおいてグリーンボンドとは、二酸化炭素の排出量削減や再生可能エネルギー発電能力の増強など、環境にやさしいプロジェクト向けの資金調達を目的として発行された公社債をいいます。 - マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 - 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 - 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。	
マザーファンドの運用方法	- 主として、日本を含む世界のグリーンボンドに投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ※当ファンドにおいてグリーンボンドとは、二酸化炭素の排出量削減や再生可能エネルギー発電能力の増強など、環境にやさしいプロジェクト向けの資金調達を目的として発行された公社債をいいます。 - ポートフォリオの構築にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行うことを基本とします。 ・マクロ経済および市場環境についての見通しを策定します。 ・アクサ・インベストメント・マネージャーズ独自のESG基準およびグリーンボンド基準、ファンダメンタル・クレジット分析等を考慮してスクリーニングを実施し、投資ユニバースを決定します。 ・発行体の信用力、デュレーションやイールドカーブ分析、種別・地域別・業種別構成等を考慮して最適と判断されるリスクリターン特性を伴ったポートフォリオを構築します。 ・流動性の確保およびポートフォリオのデュレーション調整のため、グリーンボンドとは類別されない国債等に投資することがあります。かかる国債等には、上場された債券・金利先物取引が含まれます。 ・ポートフォリオの平均格付けは、原則として、投資適格以上とすることを目指します。 - 公社債の組入比率は、原則として高位に維持します。 - 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズ・パリに運用の指図に関する権限を委託します。 - 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 - 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。	
組入制限	当ファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
配分方針	毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益（繰越欠損補填後、評価損益を含む）等の全額とします。 ②分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないこともあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

アクサ IMグリーンボンド・ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)

追加型株式投資信託／適格機関投資家私募

運用報告書（全体版）

第2期（決算日 2020年10月12日）

受益者の皆様へ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「アクサ IMグリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」は、このたび第2期の決算を行いました。当ファンドは、アクサ IMグリーンボンド・マザーファンドの受益証券を通じて、日本を含む世界のグリーンボンドに投資することにより、信託財産の成長を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

引き続き一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー14階
<http://www.axa-im.co.jp/>

《当運用報告書の記載内容に関する問い合わせ先》
電話番号：03-5447-3160
受付時間：9：00～17：00（土日祭日を除く）

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			公 社 債 率 組 入 比	純 資 産 額 総 額
		税 込 分	み 金 配	期 騰 落 中 率		
(設 定 日) 2020年 2 月 19 日	円 10,000	円 —		% —	% —	百万円 1,998
1 期 (2020年 4 月 13 日)	9,604	0		△4.0	87.8	2,053
2 期 (2020年 10 月 12 日)	10,450	0		8.8	96.8	2,649

(注 1) 基準価額および分配金は 1 万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。

(注 2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「公社債組入比率」は実質比率を記載しております。

(注 3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

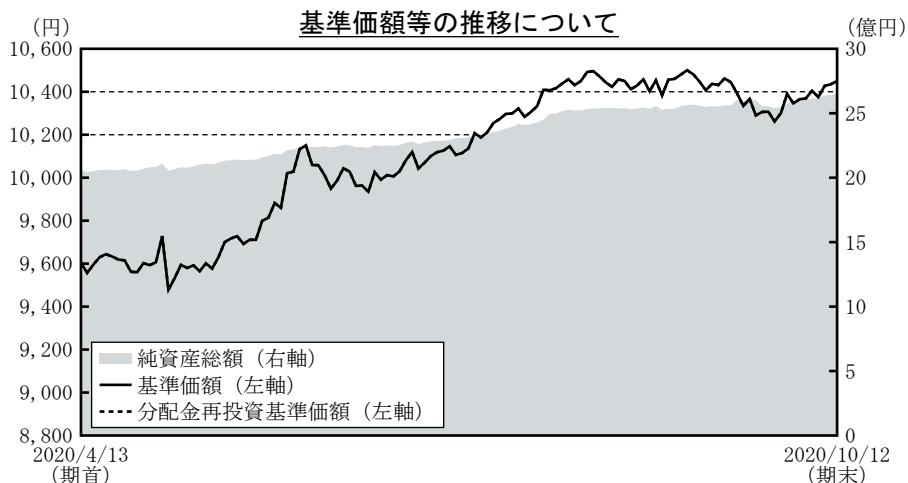
年 月 日	基 準	価 額		公 社 債 率 組 入 比
		騰 落 率	率	
(期 首) 2020年 4 月 13 日	円 9,604	% —	% 87.8	
4 月末	9,606	0.0	91.8	
5 月末	9,814	2.2	94.4	
6 月末	10,081	5.0	96.2	
7 月末	10,333	7.6	95.7	
8 月末	10,383	8.1	95.3	
9 月末	10,390	8.2	97.9	
(期 末) 2020年 10 月 12 日	10,450	8.8	96.8	

(注 1) 基準価額は 1 万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は設定日比です。なお、当期は分配金はありません。

(注 2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「公社債組入比率」は実質比率を記載しております。

(注 3) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2020年4月14日～2020年10月12日）



期 首：9,604円

期 末：10,450円（既払分配金（税込み）：0円）

騰 落 率：8.8%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当期は、主に欧州の保有銘柄の債券価格が上昇したことで欧州の通貨高がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

【投資環境について】

○グローバル債券市場

グローバル債券市場は、引き続き新型コロナウイルス感染状況に大きく影響を受けています。世界経済は、各国中央銀行の金融政策や各国政府の支援策により急速な回復を見せていました。しかし新型コロナウイルス感染再拡大により再び経済活動を制限する動きも見られ、回復のペースが鈍化してきています。こうした環境下、グリーンボンド市場の代表的指数であるICE BofAグリーンボンド指数は、主に主要国の国債利回りが低下したことから、プラスのトータルリターンとなりました（現地通貨ベース）。

米国では、感染増加に一定の歯止めがかかったものの減少に転じるまでには至らず、10-12月期の景気回復は不透明な状況です。景気支援策の幾つかは期限が切れて個人消費に悪影響を及ぼす可能性があります。追加支援策は未だ共和党と民主党の間で協議が続いており、早期の合意成立が待たれています。大統領選が間近に迫り、候補者による第1回討論会が開催されましたが、低調な内容に終わり無党派層の取り込みには役立ちませんでした。ユーロ圏の景気見通しは、感染の状況と需要回復の強さの二つの要因に左右されますが、両者とも夏場に悪化傾向を示しました。スペインとフランスでは第一波を上回るペースで感染が増加しており、政府は外出制限措置を再び強化させました。経済指標を見ると、小売売上高の回復傾向が休止し、新規自動車登録は前年比で再びマイナス圏に落ち込みました。欧州中央銀行は金融政策の現状維持を決定し、財政と金融政策の協調の必要性を訴えました。英国では、夏場に経済活動は回復を示していたものの、その後は感染再拡大やEU離脱交渉の行方に影響を受けています。イングランド銀行はマイナス金利導入の検討を開始しました。政府は欧州をモデルとした労働時間短縮などを盛り込んだ雇用支援策を発表しました。ジョンソン首相はEU離脱協定を一部見直す方針を示し、EU側からは国際法違反と批判されましたが、10月半ばのEU首脳会議まで合意の可能性はまだ残っています。中国では、景気回復が持続しており、8月は主要経済指標が軒並み予想を

上回りました。鉱工業生産は予想よりも遥かに速く危機前の水準を回復し、小売売上高も2020年に入ってから初めて前年比でプラスとなりました。

日本では、菅新政権が誕生し、来年10月を待たずに総選挙が実施される可能性があります。新内閣はデジタル化や行政改革など構造改革の必要性を訴えていますが、経済や金融政策に大きな変更はないものと見ています。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初は108円台から期末には105円台となり、ユーロ・円レートは期初の117円台から期末には124円台となりました。

米ドルは、F R B（米連邦準備制度理事会）が積極的な金融緩和を進め、ドル金利が低下し日米金利差が縮小したこと等からドル安となりました。ユーロはE Uの復興基金創設に対する期待などによりリスク回避姿勢が後退し、円安が進行しました。

【ポートフォリオについて】

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IMグリーンボンド・マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れました。

○アクサ IMグリーンボンド・マザーファンド

当ファンドは、グリーンボンド、即ち二酸化炭素の排出量削減や再生可能エネルギー発電能力の増強など、環境にやさしいプロジェクト向けの資金調達を目的として発行された公社債に投資を行います。

通貨別ではユーロ建て、次いで米ドル建てが最も多く、残りはスウェーデンクローナ建て、英ポンド建て、カナダドル建て、豪ドル建てに投資しています。債券種別配分では引き続き社債に多めの配分としており、活発な新発債市場を通じて社債の組入れを更に増やしました。社債は、現在の環境では変動の大きい状態が続くと見られますが、E C Bの債券購入プログラムが市場を支えると見られることから、バリュエーションは非常に割安であると考えています。地域別では、利回りの積み上げが狙える欧州周辺国を嗜好しています。また、チリやインドネシアなど新興国の魅力的なバリュエーションの銘柄も組入れ、リスクの分散を図っています。

グリーンボンドの資金使途では、再生可能エネルギーのプロジェクトが主たる融資先となっています。

【当ファンドのベンチマークの差異】

当ファンドは、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【分配金】

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

		第2期
		2020年4月14日～2020年10月12日
当期分配金		—
（対基準価額比率）		— %
当期の収益		—
当期の収益以外		—
翌期繰越分配対象額		450

（注1）「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

（注2）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、1万口当たりで小数点以下を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ IMグリーンボンド・マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れる方針です。

○アクサ IMグリーンボンド・マザーファンド

当ファンドは、グリーンボンドへの投資を通じて環境への取り組みを行う企業や政府を資金面で支えるとともに、クーポンの積み上げなどによる着実なパフォーマンスと安定したインカムゲインの獲得を目指します。

■1万口当たりの費用明細（2020年4月14日～2020年10月12日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	23円	0.231%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は10,109円です。
（投 信 会 社）	(22)	(0.219)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販 売 会 社）	(0)	(0.000)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
そ の 他 費 用	5	0.050	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(3)	(0.025)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(2)	(0.024)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	28	0.280	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

■売買及び取引の状況（2020年4月14日～2020年10月12日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アクサ IMグリーンボンド・マザーファンド	378,306	386,000	38,755	40,000

（注）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2020年4月14日～2020年10月12日）

期中の利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2020年4月14日～2020年10月12日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2020年10月12日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
アクサ IMグリーンボンド・マザーファンド	2,128,420	2,467,971	2,587,421

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

（2020年10月12日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アクサ IMグリーンボンド・マザーファンド	2,587,421	97.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	67,980	2.6
投 資 信 託 財 産 総 額	2,655,402	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）アクサ IMグリーンボンド・マザーファンドにおいて、期末における外貨建て資産（2,582,776千円）の投資信託財産総額（2,612,893千円）に対する比率は、98.8%です。

（注3）外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル=105.66円、1カナダドル=80.44円、1オーストラリアドル=76.23円、1英ポンド=137.63円、1スウェーデンクローナ=12.00円、1ユーロ=124.78円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年10月12日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,655,402,412円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	67,980,891
アクサ IMグリーンボンド・マザーファンド(評価額)	2,587,421,521
(B) 負 債	6,003,678
未 払 信 託 報 酬	5,409,090
そ の 他 未 払 費 用	594,588
(C) 純 資 産 総 額 (A－B)	2,649,398,734
元 本	2,535,303,843
次 期 繰 越 損 益 金	114,094,891
(D) 受 益 権 総 口 数	2,535,303,843口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C／D)	10,450円

1. 期首元本額2,138,538,957円
期中途追加設定元本額500,242,889円
期中一部解約元本額103,478,003円
2. 1口当たり純資産額1.0450円

■損益の状況

当期（自 2020年4月14日 至 2020年10月12日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 8,243円
受 取 利 息	262
支 払 利 息	△ 8,505
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	189,916,908
売 買 益	196,647,504
売 買 損	△ 6,730,596
(C) 信 託 報 酬 等	△ 6,005,313
(D) 当 期 損 益 金 (A＋B＋C)	183,903,352
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 80,464,969
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	10,656,508
(配 当 等 相 当 額)	(690,185)
(売 買 損 益 相 当 額)	(9,966,323)
(G) 計 (D＋E＋F)	114,094,891
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	114,094,891
追 加 信 託 差 損 益 金	10,656,508
(配 当 等 相 当 額)	(1,193,514)
(売 買 損 益 相 当 額)	(9,462,994)
分 配 準 備 積 立 金	103,438,383

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（14,995,711円）、費用控除後の有価証券等損益額（86,633,119円）、信託約款に規定する収益調整金（10,656,508円）および分配準備積立金（1,809,553円）より分配対象収益は114,094,891円（10,000口当たり450.02円）ですが、当期に分配した金額はありません。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	内外の公社債等および短期金融商品
運用方法	1. 主として、日本を含む世界のグリーンボンドに投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 ※当ファンドにおいてグリーンボンドとは、二酸化炭素の排出量削減や再生可能エネルギー発電能力の増強など、環境にやさしいプロジェクト向けの資金調達を目的として発行された公社債をいいます。 2. ポートフォリオの構築にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行うことを基本とします。 ・マクロ経済および市場環境についての見通しを策定します。 ・アクサ・インベストメント・マネージャーズ独自のESG基準およびグリーンボンド基準、ファンダメンタル・クレジット分析等を考慮してスクリーニングを実施し、投資ユニバースを決定します。 ・発行体の信用力、デュレーションやワールドカーブ分析、種別・地域別・業種別構成等を考慮して最適と判断されるリスク／リターン特性を伴ったポートフォリオを構築します。 ・流動性の確保およびポートフォリオのデュレーション調整のため、グリーンボンドとは類別されない国債等に投資することがあります。かかる国債等には、上場された債券・金利先物取引が含まれます。 ・ポートフォリオの平均格付けは、原則として、投資適格以上とすることを目指します。 3. 公社債の組入比率は、原則として高位に維持します。 4. 運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズ・パリに運用の指図に関する権限を委託します。 5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 6. 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
株式組入制限	無制限

アクサ IMグリーンボンド・マザーファンド

運用報告書

第1期（決算日：2020年4月13日）

（計算期間 2020年2月19日～2020年4月13日）

■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	公 社 債 率 組 入 比	純 資 産 額 総
		期 騰 落 中 率		
（設 定 日） 2020年 2 月 19 日	円 10,000	% －	% －	百万円 1,988
1 期(2020年 4 月 13 日)	9,607	△3.9	88.2	2,044

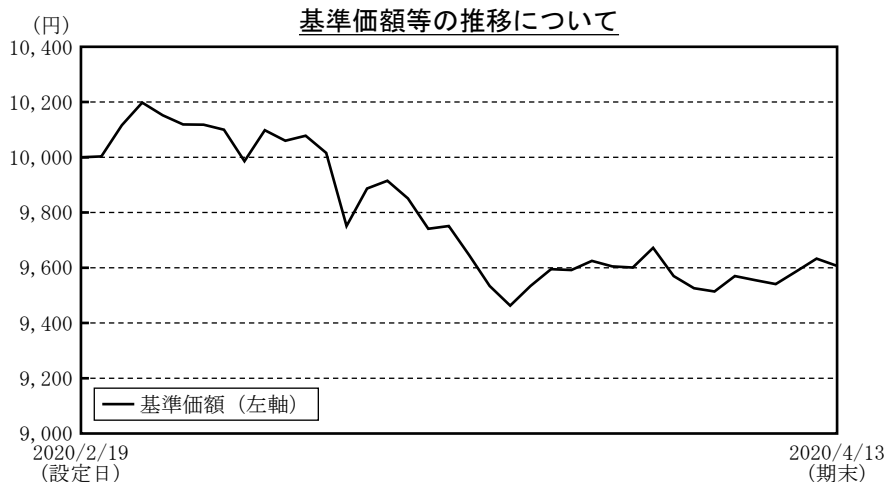
(注 1) 基準価額は 1 万口当たり。
 (注 2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目
 標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準	価 額	公 社 債 率 組 入 比
		騰 落 率	
（設 定 日） 2020年 2 月 19 日	円 10,000	% －	% －
2 月 末	10,100	1.0	94.3
3 月 末	9,672	△3.3	88.1
（期 末） 2020年 4 月 13 日	9,607	△3.9	88.2

(注 1) 基準価額は 1 万口当たり。騰落率は設定日比です。
 (注 2) 当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目
 標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2020年2月19日～2020年4月13日）



【基準価額の主な変動要因】

当期は、主として欧州の保有銘柄の債券価格が全般的に下落したことがマイナス寄与となり、基準価額は下落しました。

【投資環境について】

○グローバル債券市場

グローバル債券市場は、ファンドの設定日以降、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受けました。世界各地で都市封鎖などの措置がとられたこと等から、経済活動が停止または停滞しています。一時的と思われたショックがより長期的な影響を及ぼし、経済を数年にわたって低迷させるリスクが浮上しました。こうした環境下、グリーンボンド市場の代表的指数であるICE BofAグリーンボンド指数は、主にスプレッドの拡大によりマイナスのトータルリターンとなりました（現地通貨ベース）。

現在、感染症流行の中心地となっている米国では、既に経済への影響が出始めています。3月の最終週の新規失業保険申請件数は約330万件に達し、過去最大の増加となりました。米連邦準備制度理事会（FRB）は、大幅な利下げに加え、大規模な量的緩和策の再開を発表しました。更に、ドル不足に対処するため流動性供給プログラムの拡充を行いました。財政面では、約2兆ドルもの景気支援法案が可決されました。ユーロ圏でも経済指標は大幅な落ち込みとなりました。欧州中央銀行（ECB）は量的緩和策の拡大を発表し、国債、社債に加えてCPも購入が可能となりました。しかし財政による景気刺激策は、財政余力の違いによって各国でばらつきがあります。

日本では、コロナウイルス感染やオリンピック延期による経済活動への影響が大きく、2四半期連続でマイナス成長になると予想されます。日銀はETFの購入倍増やCP・社債の購入、流動性供給などの対応策を発表しました。

○為替市場

為替市場では、米ドル・円レートは期初は109円台から期末には108円台となり、ユーロ・円レートは期初の

118円台から期末には117円台となりました。

当期は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う景気の悪化懸念からリスク回避姿勢が高まり、安全資産と考えられている円に対する需要が強まり円高となりました。

【ポートフォリオについて】

当ファンドは、グリーンボンド、即ち二酸化炭素の排出量削減や再生可能エネルギー発電能力の増強など、環境にやさしいプロジェクト向けの資金調達を目的として発行された公社債に投資を行います。

通貨別ではユーロ建てが最も多く、次いで米ドル建て、残りは英ポンド建て、カナダドル建て、スウェーデンクローナ建て、豪ドル建てに投資しています。債券種別配分では社債に多めの配分としており、中でもユーロ建て社債を選好しています。同資産クラスは、現在の環境では変動の大きい状態が続いていますが、ECBの債券購入プログラムも市場を支えることから、バリュエーションは非常に割安であると見ています。

グリーンボンドの資金使途では、再生可能エネルギーのプロジェクトが主たる融資先となっています。

【当ファンドのベンチマークとの差異】

当ファンドは、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【今後の運用方針】

当ファンドは、グリーンボンドへの投資を通じて環境への取り組みを行う企業や政府を資金面で支えるとともに、クーポンの積み上げなどによる着実なパフォーマンスと安定したインカムゲインの獲得を目指します。

■ 1 万口当たりの費用明細（2020年 2 月19日～2020年 4 月13日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.001 (0.001)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合 計	0	0.001	

（注 1）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。期中の平均基準価額は9,781円です。

（注 2）比率欄は「1 万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況（2020年 2 月19日～2020年 4 月13日）

公社債

			買 付	売 付
外	ア メ リ カ	国 債 証 券	千米ドル 413	千米ドル —
		特 殊 債 券	1,331	102
		社 債 券	2,774	308
	カ ナ ダ	特 殊 債 券	千カナダドル 311	千カナダドル —
		社 債 券	270	—
	オ ー ス ト ラ リ ア	特 殊 債 券	千オーストラリアドル 253	千オーストラリアドル —
	イ ギ リ ス	特 殊 債 券	千英ポンド 274	千英ポンド —
		社 債 券	105	—
	ス ウ ェ ー デ ン	特 殊 債 券	千スウェーデンクローナ 1,578	千スウェーデンクローナ —
		社 債 券	756	—
国	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ア イ ル ラ ン ド	国 債 証 券	230	—
		社 債 券	107	—
	オ ラ ン ダ	国 債 証 券	447	—
		社 債 券	1,844	106
	ベ ル ギ ー	国 債 証 券	231	—
		社 債 券	103	—
	フ ラ ン ス	国 債 証 券	1,403	—
		特 殊 債 券	469	—
	ド イ ツ	社 債 券	1,636	103
		社 債 券	434	—

				買	付	売	付
外 国	ユーロ				千ユーロ		千ユーロ
	ス	ペ	イ	ン	特 殊 債 券	203	—
					社 債 券	1,568	—
					社 債 券	1,153	—
					社 債 券	102	—
					社 債 券	107	—
	そ	の	他	特 殊 債 券	309	102	
社 債 券				1,029	201		

(注1) 金額は受け渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切り捨て。

■主要な売買銘柄（2020年2月19日～2020年4月13日）

買		付	売		付
銘	柄	金額	銘	柄	金額
		千円			千円
FRANCE (GOVT OF)		168,875	KFW		22,421
EUROPEAN INVESTMENT BANK		55,836	IBERDROLA INTL BV		12,699
NETHERLANDS GOVERNMENT		53,618	BPCE SA		12,337
HONG KONG		45,247	NORDIC INVESTMENT BANK		12,280
SOCIETE DU GRAND PARIS		30,122	CITIGROUP INC		12,039
NATIONAL AUSTRALIA BK/NY		28,984	SKANDINAVISKA ENSKILDA		12,030
BELGIUM KINGDOM		27,907	ASIAN DEVELOPMENT BANK		11,166
IRISH TSY 1.35% 2031		27,706	BANK OF AMERICA CORP		11,121
IBERDROLA INTL BV		25,804			
ADIF - ALTA VELOCIDAD		25,378			

(注1) 金額は受け渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切り捨て。

■利害関係人との取引状況等（2020年2月19日～2020年4月13日）

期中の利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2020年2月19日～2020年4月13日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2020年4月13日現在）

公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建て）公社債

区 分	当 期				末			
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	う ち BB格以下 組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ア メ リ カ	千米ドル 3,957	千米ドル 4,133	千円 447,361	% 21.9	% —	% 14.4	% 7.5	% —
カ ナ ダ	千カナダドル 550	千カナダドル 590	45,830	2.2	—	1.8	0.4	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 221	千オーストラリアドル 248	17,041	0.8	—	0.8	—	—
イ ギ リ ス	千英ポンド 370	千英ポンド 377	50,885	2.5	—	1.8	0.7	—
スウェーデン	千スウェーデンクローナ 2,200	千スウェーデンクローナ 2,295	24,974	1.2	—	0.7	0.5	—
ユーロ	アイルランド	千ユーロ 300	千ユーロ 319	37,730	1.8	—	1.8	—
	オランダ	2,050	2,058	243,480	11.9	—	9.1	2.8
	ベルギー	300	323	38,256	1.9	—	1.3	0.6
	フランス	2,900	3,232	382,249	18.7	—	16.3	2.4
	ドイツ	420	409	48,456	2.4	—	1.2	1.1
	スペイン	1,700	1,683	199,143	9.7	—	5.7	4.1
	イタリア	1,100	1,082	127,979	6.3	—	2.3	4.0
	フィンランド	100	97	11,513	0.6	—	0.6	—
	オーストリア	100	104	12,323	0.6	—	—	0.6
	そ の 他	1,000	986	116,708	5.7	—	3.4	2.3
小 計		9,970	10,297	1,217,843	59.6	—	41.7	17.8
合 計		—	—	1,803,937	88.2	—	61.3	27.0

（注1）邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

（注2）組入比率は、純資産総額（ただし追加型公社債投信については資産総額）に対する評価額の割合。

（注3）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(B) 個別銘柄開示

外国（外貨建て）公社債

銘柄	種類	年利	率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨建金額	
(アメリカ)		%		千米ドル	千米ドル	千円	
HONG KONG	国債証券	2.5000		400	420	45,536	2024/05/28
KOMMUNALBANKEN AS	特殊債券	2.1250		200	212	23,028	2025/02/11
ASIAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	1.7500		200	210	22,771	2026/08/14
INTL FINANCE CORP	特殊債券	2.1250		200	215	23,308	2026/04/07
EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	1.6250		500	523	56,685	2029/10/09
INTL BK RECON & DEVELOP	特殊債券	2.1250		100	106	11,542	2025/03/03
NEDER FINANCIERINGS-MAAT	社債証券	2.7500		200	215	23,336	2024/02/20
SWIRE PROPERT MTN FIN	社債証券	3.5000		200	214	23,178	2028/01/10
ING GROEP NV	社債証券	4.6250		200	217	23,547	2026/01/06
WELLTOWER INC	社債証券	2.7000		200	199	21,576	2027/02/15
ELECTRICITE DE FRANCE SA	社債証券	3.6250		150	159	17,277	2025/10/13
NATIONAL AUSTRALIA BK/NY	社債証券	3.6250		250	258	27,950	2023/06/20
NEDER WATERSCHAPS BANK	社債証券	2.3750		200	216	23,449	2026/03/24
APPLE INC	社債証券	2.8500		100	104	11,275	2023/02/23
PRUDENTIAL FINANCIAL INC	社債証券	1.5000		117	112	12,136	2026/03/10
NORTHERN STATES PWR-MINN	社債証券	2.9000		160	158	17,157	2050/03/01
APPLE INC	社債証券	3.0000		170	185	20,078	2027/06/20
PEPSICO INC	社債証券	2.8750		160	157	16,992	2049/10/15
TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	社債証券	2.1500		150	144	15,620	2030/02/13
BANK OF AMERICA CORP	社債証券	3.4990		100	100	10,910	2022/05/17
通貨小計	—	—		3,957	4,133	447,361	—
(カナダ)				千カナダドル	千カナダドル		
PROVINCE OF QUEBEC	特殊債券	2.4500		100	104	8,091	2023/03/01
PROVINCE OF QUEBEC	特殊債券	2.6000		200	212	16,477	2025/07/06
CPPIB CAPITAL INC	社債証券	3.0000		250	274	21,261	2028/06/15
通貨小計	—	—		550	590	45,830	—
(オーストラリア)				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	3.3000		200	225	15,466	2028/02/03
INTL BK RECON & DEVELOP	特殊債券	2.9000		21	22	1,575	2025/11/26
通貨小計	—	—		221	248	17,041	—
(イギリス)				千英ポンド	千英ポンド		
EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	0.7500		100	100	13,585	2024/11/15
TRANSPORT FOR LONDON	特殊債券	2.1250		100	104	14,035	2025/04/24
ASIAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	0.6250		70	69	9,384	2026/09/15
ORSTED A/S	社債証券	2.1250		100	102	13,880	2027/05/17
通貨小計	—	—		370	377	50,885	—
(スウェーデン)				千スウェーデンクローナ	千スウェーデンクローナ		
EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	1.5000		500	533	5,809	2027/03/02
EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	0.8750		1,000	1,018	11,079	2025/01/30
KFW	社債証券	1.3750		700	743	8,084	2028/02/02
通貨小計	—	—		2,200	2,295	24,974	—
(ユーロ…アイルランド)				千ユーロ	千ユーロ		
IRISH TSY 1.35% 2031	国債証券	1.3500		200	221	26,218	2031/03/18
ESB FINANCE DAC	社債証券	1.1250		100	97	11,512	2030/06/11
国小計	—	—		300	319	37,730	—
(ユーロ…オランダ)				千ユーロ	千ユーロ		
NETHERLANDS GOVERNMENT	国債証券	0.5000		400	429	50,757	2040/01/15
LEASEPLAN CORPORATION NV	社債証券	1.3750		100	91	10,877	2024/03/07

アクサ IMグリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

銘柄	種類	年利	率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨建金額	
(ユーロ・・・オランダ)			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ABN AMRO BANK NV	社債	0.6250		100	100	11,848	2022/05/31
ALLIANDER NV	社債	0.8750		100	99	11,752	2032/06/24
EDP FINANCE BV	社債	0.3750		200	185	21,943	2026/09/16
NATURGY FINANCE BV	社債	0.8750		100	96	11,457	2025/05/15
DE VOLKSBANK NV	社債	0.0100		100	95	11,351	2024/09/16
IBERDROLA INTL BV	社債	2.5000		100	103	12,275	2022/10/24
ENBW INTL FINANCE BV	社債	1.8750		50	54	6,404	2033/10/31
KONINKLIJKE PHILIPS NV	社債	0.5000		100	96	11,430	2026/05/22
ING GROEP NV	社債	2.5000		100	109	12,939	2030/11/15
ENEL FINANCE INTL NV	社債	1.1250		100	99	11,730	2026/09/16
ALLIANDER NV	社債	0.8750		100	102	12,089	2026/04/22
TENNET HOLDING BV	社債	0.7500		100	99	11,805	2025/06/26
COOPERATIEVE RABOBANK UA	社債	0.2500		100	95	11,273	2026/10/30
ENEL FINANCE INTL NV	社債	1.0000		100	99	11,794	2024/09/16
ABN AMRO BANK NV	社債	0.8750		100	99	11,747	2025/04/22
国小計	—	—	—	2,050	2,058	243,480	—
(ユーロ・・・ベルギー)				千ユーロ	千ユーロ		
BELGIUM KINGDOM	国債証券	1.2500		200	223	26,464	2033/04/22
KBC GROUP NV	社債	0.8750		100	99	11,792	2023/06/27
国小計	—	—	—	300	323	38,256	—
(ユーロ・・・フランス)				千ユーロ	千ユーロ		
FRANCE (GOVT OF)	国債証券	1.7500		1,100	1,341	158,693	2039/06/25
SOCIETE DU GRAND PARIS	特殊債	1.7000		200	236	28,028	2050/05/25
ELECTRICITE DE FRANCE SA	特殊債	1.0000		100	100	11,848	2026/10/13
SOCIETE DU GRAND PARIS	特殊債	1.1250		100	107	12,758	2034/05/25
SNCF RESEAU	社債	1.0000		100	105	12,515	2031/11/09
ICADE	社債	1.5000		100	95	11,313	2027/09/13
SNCF RESEAU	社債	1.8750		100	116	13,759	2034/03/30
SNCF RESEAU	社債	2.2500		100	126	14,991	2047/12/20
BNP PARIBAS	社債	0.5000		100	100	11,840	2022/06/01
REGIE AUTONOME DES TRANS	社債	0.8750		100	104	12,358	2027/05/25
LA POSTE SA	社債	1.4500		100	102	12,111	2028/11/30
AGENCE FRANCAISE DEVELOP	社債	1.3750		100	106	12,569	2024/09/17
BNP PARIBAS	社債	0.5000		100	98	11,592	2026/06/04
CREDIT AGRICOLE SA	社債	0.3750		100	97	11,536	2025/10/21
LA BANQUE POSTALE	社債	1.3750		100	100	11,931	2029/04/24
COVIVIO	社債	1.1250		100	88	10,446	2031/09/17
UNIBAIL-RODAMCO SE	社債	2.5000		100	101	11,976	2024/02/26
BNP PARIBAS	社債	1.0000		100	101	11,978	2024/04/17
国小計	—	—	—	2,900	3,232	382,249	—
(ユーロ・・・ドイツ)				千ユーロ	千ユーロ		
E.ON SE	社債	0.3500		70	63	7,493	2030/02/28
NRW.BANK	社債	0.5000		50	51	6,061	2027/09/13
BERLIN HYP AG	社債	1.1250		100	99	11,720	2027/10/25
BERLIN HYP AG	社債	0.5000		100	98	11,617	2023/09/26
COMMERZBANK AG	社債	1.2500		100	97	11,563	2023/10/23
国小計	—	—	—	420	409	48,456	—
(ユーロ・・・スペイン)				千ユーロ	千ユーロ		
INSTITUT CREDITO OFICIAL	特殊債	0.2000		200	198	23,489	2024/01/31
ADIF - ALTA VELOCIDAD	社債	0.8000		200	201	23,803	2023/07/05
ADIF - ALTA VELOCIDAD	社債	1.2500		100	103	12,228	2026/05/04

アクサ IMグリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 建 金 額	
(ユーロ・・・スペイン)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ADIF - ALTA VELOCIDAD	社 債 券	0.9500	200	202	23,900	2027/04/30
IBERDROLA FINANZAS SAU	社 債 券	1.2500	100	101	11,960	2026/10/28
RED ELECTRICA FIN SA UNI	社 債 券	0.3750	100	95	11,318	2028/07/24
TELEFONICA EMISIONES SAU	社 債 券	1.0690	100	100	11,841	2024/02/05
IBERDROLA FINANZAS SAU	社 債 券	1.0000	100	100	11,933	2025/03/07
BANCO BILBAO VIZCAYA ARG	社 債 券	1.0000	100	94	11,165	2026/06/21
BANCO BILBAO VIZCAYA ARG	社 債 券	1.3750	100	98	11,703	2025/05/14
BANCO SANTANDER SA	社 債 券	0.3000	100	94	11,168	2026/10/04
IBERDROLA FINANZAS SAU	社 債 券	1.0000	100	100	11,904	2026/03/07
IBERDROLA FINANZAS SAU	社 債 券	1.2500	100	101	12,007	2027/09/13
BANKINTER SA	社 債 券	0.6250	100	90	10,717	2027/10/06
国小計	—	—	1,700	1,683	199,143	—
(ユーロ・・・イタリア)			千ユーロ	千ユーロ		
A2A SPA	社 債 券	1.0000	100	95	11,244	2029/07/16
FERROVIE DELLO STATO	社 債 券	0.8750	100	98	11,614	2023/12/07
INTESA SANPAOLO SPA	社 債 券	0.8750	200	196	23,181	2022/06/27
TERNA SPA	社 債 券	1.0000	100	98	11,631	2026/04/10
TERNA SPA	社 債 券	1.0000	100	100	11,828	2023/07/23
HERA SPA	社 債 券	2.3750	100	106	12,539	2024/07/04
UNIONE DI BANCHE ITALIAN	社 債 券	1.5000	100	96	11,373	2024/04/10
HERA SPA	社 債 券	0.8750	100	97	11,536	2027/07/05
INTESA SANPAOLO SPA	社 債 券	0.7500	100	94	11,213	2024/12/04
IREN SPA	社 債 券	1.5000	100	99	11,816	2027/10/24
国小計	—	—	1,100	1,082	127,979	—
(ユーロ・・・フィンランド)			千ユーロ	千ユーロ		
NORDEA BANK ABP	社 債 券	0.3750	100	97	11,513	2026/05/28
国小計	—	—	100	97	11,513	—
(ユーロ・・・オーストリア)			千ユーロ	千ユーロ		
VERBUND AG	社 債 券	1.5000	100	104	12,323	2024/11/20
国小計	—	—	100	104	12,323	—
(ユーロ・・・その他)			千ユーロ	千ユーロ		
ASIAN DEVELOPMENT BANK	特 殊 債 券	0.3500	100	102	12,096	2025/07/16
NORDIC INVESTMENT BANK	特 殊 債 券	0.0000	100	100	11,941	2026/09/25
VATTENFALL AB	社 債 券	0.0500	100	95	11,243	2025/10/15
ORSTED A/S	社 債 券	1.5000	100	103	12,257	2029/11/26
VATTENFALL AB	社 債 券	0.5000	100	96	11,427	2026/06/24
NATIONAL AUSTRALIA BANK	社 債 券	0.3500	100	98	11,706	2022/09/07
SUMITOMO MITSUI FINL GRP	社 債 券	0.4650	100	96	11,408	2024/05/30
NATL GRID ELECT TRANS	社 債 券	0.1900	100	96	11,397	2025/01/20
VODAFONE GROUP PLC	社 債 券	0.9000	100	97	11,515	2026/11/24
WESTPAC BANKING CORP	社 債 券	0.6250	100	99	11,713	2024/11/22
国小計	—	—	1,000	986	116,708	—
ユーロ通貨小計	—	—	9,970	10,297	1,217,843	—
合 計	—	—	—	—	1,803,937	—

（注1）邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

（注2）額面金額、評価額の単位未満は切り捨て。

■投資信託財産の構成

（2020年4月13日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	1,803,937	88.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	240,909	11.8
投 資 信 託 財 産 総 額	2,044,846	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。
（注2）期末における外貨建て資産（2,001,859千円）の投資信託財産総額（2,044,846千円）に対する比率は、97.9%です。
（注3）外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは1米ドル＝108.23円、1カナダドル＝77.55円、1オーストラリアドル＝68.57円、1英ポンド＝134.80円、1スウェーデンクローナ＝10.88円、1ユーロ＝118.27円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2020年4月13日現在）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,044,846,777円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	229,431,647
公 社 債（評価額）	1,803,937,545
未 収 利 息	3,419,781
前 払 費 用	8,057,804
(B) 負 債	14,264
そ の 他 未 払 費 用	14,264
(C) 純 資 産 総 額（A－B）	2,044,832,513
元 本	2,128,420,961
次 期 繰 越 損 益 金	△ 83,588,448
(D) 受 益 権 総 口 数	2,128,420,961口
1万口当り基準価額（C／D）	9,607円

1. 設定元本額 1,988,000,000円
期中追加設定元本額 236,693,911円
期中一部解約元本額 96,272,950円
2. 1口当たりの純資産額 0.9607円
3. 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額
アクサ IMグリーンボンド・ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）
2,128,420,961円
期末元本合計 2,128,420,961円

■損益の状況

（2020年2月19日～2020年4月13日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	3,874,044円
受 取 利 息	3,886,457
支 払 利 息	△ 12,413
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 90,027,267
売 買 益	13,301,114
売 買 損	△103,328,381
(C) そ の 他 費 用	△ 14,264
(D) 当 期 損 益 金（A＋B＋C）	△ 86,167,487
(E) 解 約 差 損 益 金	4,272,950
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,693,911
(G) 計（D＋E＋F）	△ 83,588,448
次 期 繰 越 損 益 金（G）	△ 83,588,448

- （注1）損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
（注2）損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。